

プロジェクトの基本情報

プロジェクトの基本情報	PJ名称	■やぶ市民交流広場 YB fab 整備プロジェクト
	所在地	■兵庫県養父市八鹿町
	完了時期	■2021年9月
	種別1	■新築
	種別2	■非住宅建築
CM業務委託者に 関する情報	委託者名	■養父市
	種別	■公共法人
	所在地	■兵庫県養父市八鹿町
応募者に関する情報	応募者名	■阪急コンストラクション・マネジメント株式会社
	種別	■CM専門会社
	所在地	■大阪府大阪市
CMRの参画時期	■基本設計段階／実施設計段階 工事発注段階／工事段階／完成後	
CMRの選定方法	■2017年10月～2021年10月	
設計と施工の発注方式	■設計施工分離	■ECI
設計者の選定	■プロポーザル	
工事施工者の選定	■プロポーザル	
設計施工者の選定時期	■基本設計時	



南からの外観



北西からの外観



屋外通路



ホワイエ



飲食スペース



ホール



図書館

テーマ01 CMRへ求められたこと

CM業務のプロポーザル実施要項において、CMRに求めることを下記のようにまとめている。「本施設は、文化芸術の拠点として将来にわたり、愛着を持って利用され、地域の文化を守り育み、ふるさとへの誇りを一層高める役割を果たすとともに、市民はもちろん、市外からも気軽に立ち寄り、養父市の文化、芸術、伝統、風土が醸し出す魅力が感じられる場所にしなければなりません。これらの実現に向けて、限られた予算の範囲内で、より高品質な施設を期限内に完成させ、市民に提供するという最大限の事業効果を発揮することをCMRに求めています。」



テーマ02 CMRが目指したこと

2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
基本構想	基本計画 CMR選定	設計者 選定	PF 期間 選定	設計 監修	監理監修
		設計	基本設計	実施設計	設計監理
		技術協力・施工	技術協力	本体工事	
		附帯工事	基本設計 詳細設計	製作・据付	
			グンゼ棟改修工事	実施設計 改修工事	
部がCM業務					

■プロジェクトを取り巻く状況

- ①高い技術力を持つ大手ゼネコンが参画しにくいエリア
- ②市民からの意見聴取の推進役が不在
- ③市民の関心は低く、機運が盛り上がっていない

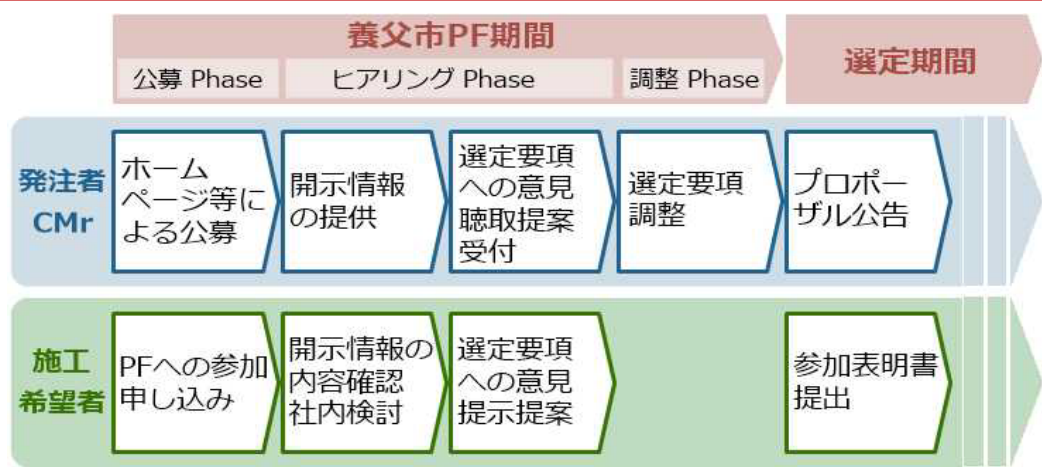
■プロジェクトの目標

- ①目標期日内に目標予算内での目標品質確保
- ②市民の意見を取り入れた計画の実現
- ③市民から愛着を持たれる賑わいある施設の実現

テーマ03 CMRがとった手法

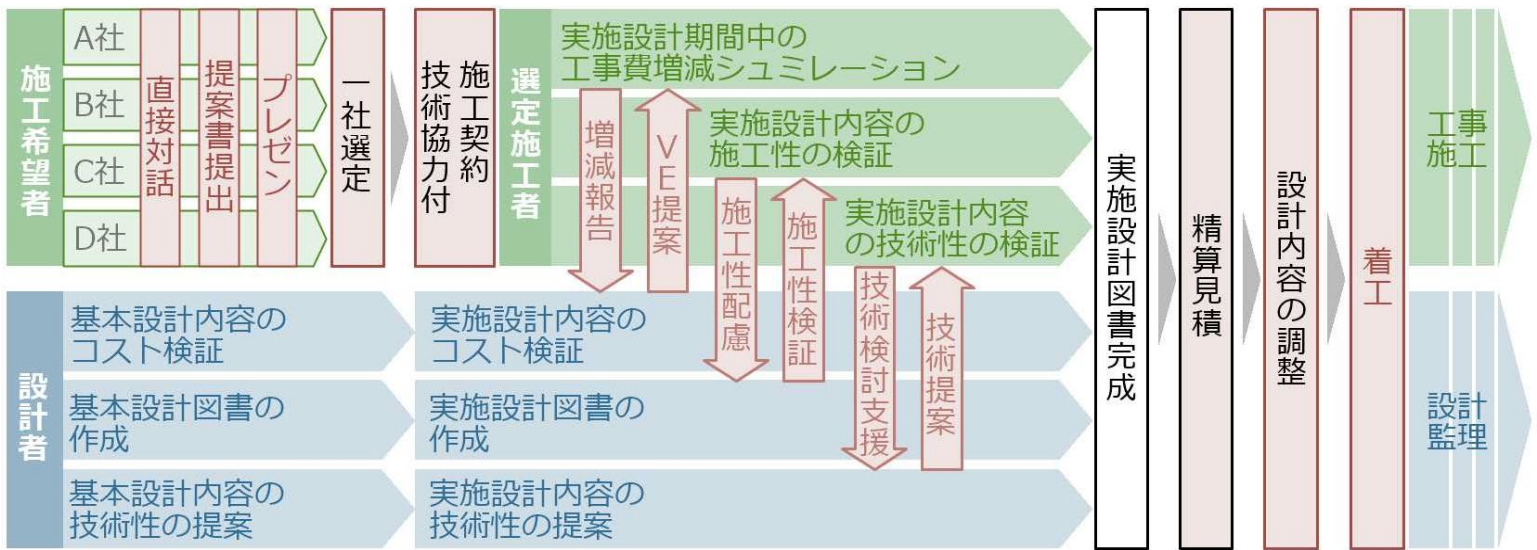
最適な発注スキームで
設計者と施工者の技術
力を最大化

- ①高い技術力を持つ複数の施工会社が競合する環境づくり
- ②施工者選定と工事請負契約の最適な実施時期の検討
- ③設計者と施工者の最適な協業体制の検討



■養父市PFの詳細

都市部から離れたエリアであっても、高い技術力が必要となる複合施設を目標予算内で実現するために、入札公募以前に設計情報の開示と応募条件の協議を実施する「養父市プラットフォーム」を実施。さらに施工者の技術力を設計に活かすためECI方式を採用。また設計中の価格の上昇を抑制するために、技術協力業務と工事請負の同時契約を実施。

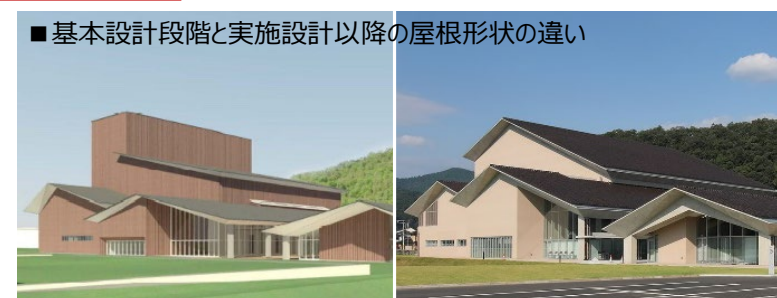


市民が愛着を持てる様々なイベントの
実施と、開館後の賑わいにつながる
仕組みづくり

- ①施設の使いこなしについて意見を聞くためのWSの開催
- ②プロジェクトの認知度を高めるイベントの企画と開催支援
- ③多様な企画を生む市内外の学校や各種団体との連携構築
- ④イベント開催で得た知見を運営マニュアルとして取りまとめ

CMRによる企画と実施支援のもと、施設の使いこなしに関する市民ワークショップを開催し、そこで得たアイデアをもとに市内の高校や市外の短大、大学、各種団体と連携して、壁画イベントや瓦記名会、ブライダルイベントなど、様々なイベントを実施。さらに、そこで得た知見を、運営マニュアルとしてまとめた。

イベント名称	連携団体
敷地見学会	文化施設プロデューサー
立誠舎での事業説明会	
高校生との市民WS	関西大学
ママさんとの市民WS	関西大学
ババさんとの市民WS	関西大学
YABU盛会議	関西大学
ホールテストイベント/スーパーキッズオーケストラ演奏会	兵庫芸術文化センター、八鹿高校
壁画イベント	八鹿高校、関西大学
屋外空間テストイベント/コロナ対応で中止	関西大学
芝貼りイベント/コロナ対応で中止	関西大学
瓦記名会	
小学生による工事現場見学会	
柿落し公演	兵庫芸術文化センター
ロゴマークデザインプロポーザル	トックスター（プロポーザルで選定）
ハーベストウェディング	夕陽丘学園短大、関西大学、カローズ



基本設計中に実施した市民WSから得た市民意見は、実施設計においてECI方式のもとで、施工者の技術力、コスト調整力を活かしながらCMRが具現化のマネジメントを実施。オーケストラ演奏の音質を重視したホール設計や、景観を考慮したフライタワーの形状変更、当初金属葺きであった屋根仕上げをかつて当地で生産されていた「八鹿瓦」の色を再現した瓦葺きへの変更、外壁の一部を八鹿瓦と同じ釉薬及び焼成温度で製作したタイル貼りへの変更、などを実現。

市民意見を着実に具現化するための
体制を構築

- ①市民からの施設に対する意見を吸い上げる手法の検討
- ②抽象的になりがちな意見を具体的なカタチとして落とし込むための検討プロセスの構築
- ③実施設計以降の変更にも対応できる体制づくり



■敷地見学会

■ママさんWS

■瓦記名会



■間口に対して高さのあるプロセニウム開口



■周辺の風景になじむ現代版の八鹿瓦



■八鹿瓦の色を再現



■現場を囲む既存堀への壁画イベント



■ブライダルイベント